

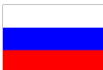
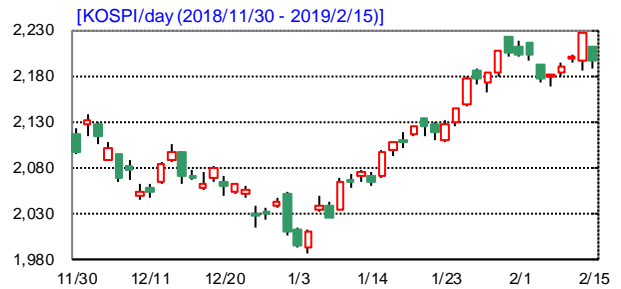


【韓国】 総合指数は週間で0.9%高と反発、今週は2200ポイント試すか

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で0.9%高と反発した。貿易や投資を巡る米中協議が合意に向かうとの期待が強かったほか、米政府機関の再閉鎖懸念が和らぎ、投資家のリスク選好意欲が高まった。週明け11日からの4連騰で一時は節目の2200ポイントを上抜け、14日に終値ベースで昨年10月10日以来約4カ月ぶり高値を付けた。15日は米景気減速を警戒する売りが出て、5日ぶりに反落している。週間ではサムスン電子やLGディスプレイ、LG化学、アモーレパシフィックが上昇。半面、現代自動車や起亜自動車、ロッテショッピング、ハナ・フィナンシャル・グループが下げた。今週は前週末に割り込んだ2200ポイントを試すか。2回目の米朝首脳会談を27-28日に控え、積極的な売買を見送る気分が次第に広がる可能性もある。

▼指数チャート

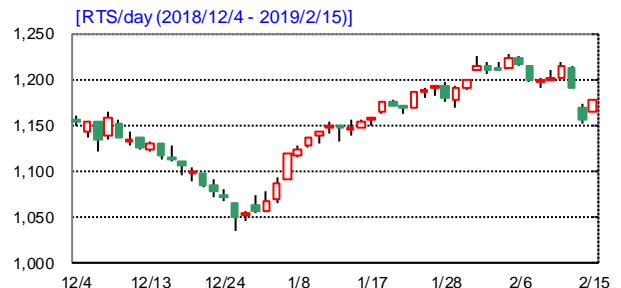


【ロシア】 RTS指数は1.8%安と続落、今週は欧米の追加制裁懸念で神経質か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で1.8%安と続落。原油高やソブリン格付けの引き上げを受けて週前半は堅調に推移したが、欧米による対ロシア追加制裁の観測を受けてその後大きく下落した。米格付け会社のムーディーズがロシアのソブリン債を格上げしたことが好感され、週初に上昇してスタートすると、原油価格の上昇や欧米株高、10-12月期の好調な経済成長率などを背景に12日まで買いが続いた。ただ、米国が3月にも追加の対ロ経済制裁の実施を検討していると伝えたフィナンシャル・タイムズの報道を受けて相場の雰囲気急変し、一気に資金が流出した。13日に前日比2.0%安、14日には2.9%安の1156.31ドルと大幅に続落し、約1カ月ぶりの安値で引けた。今週は欧米による追加制裁への警戒感で神経質な展開か。

▼指数チャート



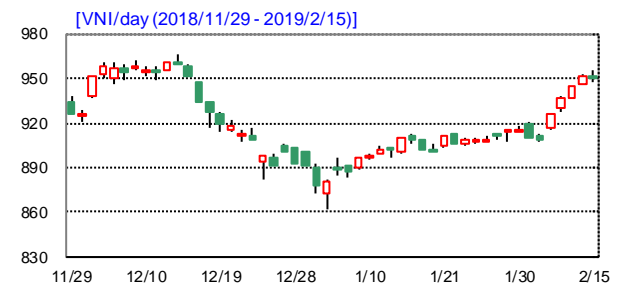
【ベトナム】 ベトナム指数は4.6%高と大幅反発、今週は高値警戒感が上値圧迫要因か

因か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で4.6%高と大幅に反発。米中貿易協議の進展期待や好調な中国貿易統計を受けて資金流入が続き、14日には約2カ月ぶりの高値を付けた。旧正月の連休明けのベトナム市場は総じて好調に推移。週初から不動産株や金融株が買われ、指数を大きく押し上げた。その後もトランプ米大統領が3月1日までの対中追加関税の猶予期間を延長する可能性に言及したことに加え、予想外に大幅増となった中国の1月の輸出が好感され、買いが継続。14日には952.34ポイントと約2カ月ぶりの高値で引けている。一方、15日は東南アジア地域で予想を下回る経済指標の発表が相次ぎ、ベトナムの株式市場でも嫌気された。今週は米中通商協議の進展期待が支援材料になる公算が大きいものの、高値警戒感が上値圧迫要因か。

▼指数チャート

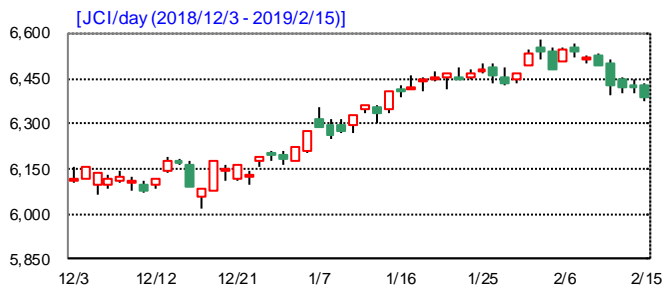


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 2.0%安、今週は中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催

ジャカルタ総合指数は週間で 2.0%安と続落。じりじりと下値を広げた 1 週間だった。週初の 11 日は北京で始まった貿易問題を巡る米中次官級協議の様子見で買い控えられ、指数は 3 営業日続落で節目の 6500 ポイントを割り込んで引けた。12 日は前日に米軍艦が南沙諸島付近を航行し、米中貿易協議への影響が懸念されて前日比で 1.1%下落した。その後、14 日は小幅ながら 6 日ぶりに反発したものの、15 日は 1 月の輸出入額とともに市場予想から下振れした影響で、終値で 6400 ポイントを下回り、1 カ月ぶりの安値を更新して引けている。今週は 21 日に中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催する予定。

▼指数チャート

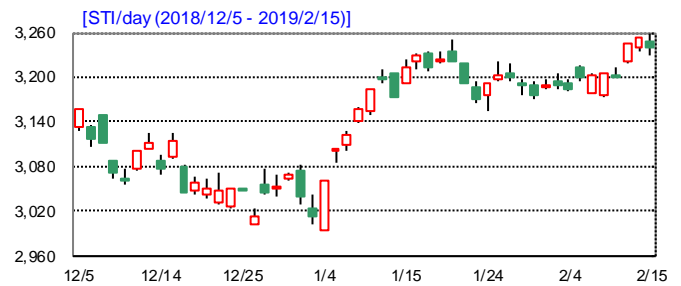


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】スเตรツタイムズ指数は 1.2%高、14 日に約 4 カ月ぶりの高値更新

スเตรツタイムズ指数は週間で 1.2%高と続伸。週半ば以降は終始 3200 ポイント台を維持するなどおおむね堅調に推移した。週前半は小幅な値動きだったが、13 日はトランプ米大統領が中国との貿易協議について 3 月 1 日の期限を延長する可能性への示唆が好感され、指数は終値で前日比 1.4%上昇。14 日は中国の 1 月の輸出入額が市場予想から上振れた効果で続伸し、約 4 カ月ぶりの高値を更新した。ただ、15 日は 18 年 10-12 月の GDP 改定値が前年同期比 1.9%増と速報値の 2.2%増から下振れした影響で反落している。今週は 18 日発表の 19 年度予算案と 1 月の非石油地場輸出に対する市場の反応が焦点。

▼指数チャート

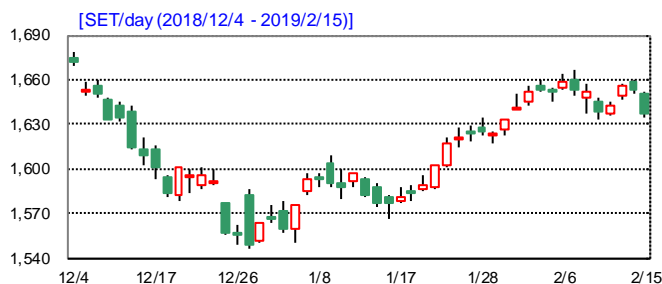


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.9%安、今週は 18 年 10-12 月の GDP に対する市場の反応が焦点

SET 指数は週間で 0.9%安と 4 週ぶりに反落。週末の下落が指数を押し下げた。週初の 11 日は前週末にタクシン元首相派がウボンラット王女を次期首相候補に擁立したが、その後に撤回を余儀なくされたことを受けた政治的混乱が嫌気され、指数は 3 営業日続落。一方、12 日に買い戻されると、13 日はエネルギー株が指数上昇をけん引した。ただ、週後半は軟調で 14 日の反落に続き、15 日は GDP の発表を翌週に控えた様子見で続落して取引を終えた。今週は 18 日の 18 年 10-12 月の GDP に続いて 21 日には 1 月の貿易統計（通関ベース）が発表される予定。19 日はマカブーチャ（万仏祭）の祝日で休場となる。

▼指数チャート

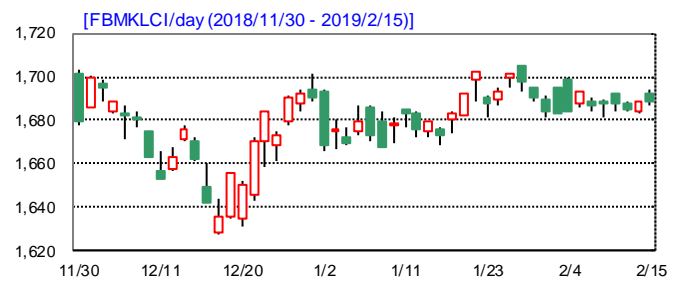


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.1%高、ブレント原油価格上昇でエネルギー株に買い

クアラルンプール総合指数は週間で 0.1%高と続伸。小幅な値動きで推移した。週初の 11 日は、米中貿易協議の進展に対する期待感から中国株が上昇した効果で反発。その後は買い材料に乏しく 13 日まで続落したが、14 日はブレント原油価格の上昇を受けてエネルギー株が指数上昇をけん引した。同日に発表された 18 年 10-12 月の GDP 成長率は前年同期比 4.7%で市場予想と一致している。今週は 22 日に 1 月の CPI が発表される予定。外部要因では、ワシントンで行われる米中通商協議の行方が相場を左右しそうだ。前週末の NY ダウが協議進展への期待感から約 3 カ月ぶりの高値を更新したことは好材料。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。